

## 安全データシート

## 亜りん酸ジブチル

改訂日: 2024-01-24 版番号: 1

## 1. 化学品及び会社情報

## 製品識別子

製品名 : 亜りん酸ジブチル  
CB番号 : CB4157218  
CAS : 1809-19-4  
同義語 : 亜りん酸ジブチル

## 物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途 : 潤滑油の極圧添加剤, 酸化防止剤, 安定剤 (NITE CHRIP)  
推奨されない用途 : なし

## 会社ID

会社名 : Chemicalbook  
住所 : 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟  
電話 : 400-158-6606

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 分類実施日(物化危険性及び健康有害性)

GHS改訂4版を使用

H29.3.1、政府向けGHS分類ガイダンス (H25年度改定版 (ver1.1): JIS Z7252:2014準拠) を使用

## 物理化学的危険性

-

## 健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A

急性毒性(経皮) 区分4

## 分類実施日(環境有害性)

政府向けGHS分類ガイダンス (H25年度改定版 (ver1.1): JIS Z7252:2014準拠) を使用

## 環境に対する有害性

水生環境有害性 (長期間) 分類未実施

水生環境有害性 (急性) 分類未実施

## ラベル要素

## 絵表示又はシンボル

GHS07	GHS08
-------	-------

#### 注意喚起語

警告

#### 危険有害性情報

強い眼刺激

皮膚刺激

皮膚に接触すると有害

#### 注意書き

##### [安全対策]

取扱い後は手や顔をよく洗うこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡を着用すること。

##### [応急措置]

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用している容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

##### [廃棄]

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質 / 混合物の区別:	: 化学物質
化学名又は一般名:	: 亜りん酸ジブチル
濃度又は濃度範囲:	: >95.0%(GC)
CAS RN:	: 1809-19-4
別名	: Dibutyl Phosphonate , Phosphonic Acid Dibutyl Ester , Phosphorous Acid DibutylEster
化学式:	: C8H19O3P
官報公示整理番号 化審法:	: (2)-2001
官報公示整理番号 安衛法:	: 公表化学物質

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合:

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

#### 皮膚に付着した場合:

直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を流水、シャ

ワで洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

**目に入った場合：**

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

**飲み込んだ場合：**

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。

**応急措置をする者の保護：**

救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

---

## 5. 火災時の措置

**適切な消火剤：**

粉末, 泡, 二酸化炭素

**使ってはならない消火剤：**

水(火災を拡大し危険な場合がある)

**火災時の特定危険有害性：**

燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生する恐れがあるので注意する。

**特有の消火方法：**

消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。関係者以外は安全な場所に退去させる。周辺火災時、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

**消火を行う者の保護：**

消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：**

る。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止す十分に換気を行う。

漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。

個人用保護具を着用する。

**環境に対する注意事項：**

製品が排水路に排出されないよう注意する。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材：**

付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

ウエス、乾燥砂、土、おがくずなどに吸収させて回収する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策:

取扱いは換気のよい場所で行う。適切な保護具を着用する。漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない。取扱い後は手や顔などをよく洗う。

#### 注意事項:

蒸気やエアゾールが発生する場合には、換気、局所排気を用いる。

#### 安全取扱い注意事項:

皮膚、眼および衣類との接触を避ける。

### 保管

#### 適切な保管条件:

容器を密栓して冷暗所に保管する。不活性ガスを充填する。湿気を避ける。酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。

#### 避けるべき保管条件:

湿気

#### 安全な容器包装材料:

法令の定めるところに従う。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 設備対策:

作業者が直接暴露されないように、できるだけ密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

### 管理濃度:

設定されていない。

### 保護具

#### 呼吸用保護具:

防毒マスク、簡易防毒マスク等。

#### 手の保護具:

保護手袋。

#### 眼、顔面の保護具:

保護眼鏡。状況に応じ保護面。

#### 皮膚及び身体の保護具:

保護衣。状況に応じ、保護長靴。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

### Information on basic physicochemical properties

形状 液体 (20℃、1気圧) (GHS判定)

色 白色 (HSDB (2016))

臭い 強い刺激臭 (HSDB (2016))

臭いのしきい(閾)値 データなし

pH データなし

データなし

118~119℃ (15 hPa) (GESTIS (2016))

118℃ (closed cup) (GESTIS (2016))

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

log Kow = 1.81 (est) (HSDB (2016))

水: 7,300 mg/L (25℃) (HSDB (2016))

0.98685 (25℃) (HSDB (2016))

6.7 (Air= 1) (HSDB (2016))

< 0.1 hPa (20℃) (GESTIS (2016))

#### 融点・凝固点

データなし

#### 沸点、初留点及び沸騰範囲

118~119℃ (15 hPa) (GESTIS (2016))

#### 引火点

118℃ (closed cup) (GESTIS (2016))

#### 蒸発速度(酢酸ブチル=1)

データなし

#### 燃焼性(固体、気体)

データなし

#### 燃焼又は爆発範囲

データなし

#### 蒸気圧

< 0.1 hPa (20℃) (GESTIS (2016))

#### 蒸気密度

6.7 (Air= 1) (HSDB (2016))

#### 比重(相対密度)

0.98685 (25℃) (HSDB (2016))

#### 溶解度

水: 7,300 mg/L (25℃) (HSDB (2016))

#### n-オクタノール/水分配係数

log Kow = 1.81 (est) (HSDB (2016))

#### 自然発火温度

データなし

#### 分解温度

データなし

#### 粘度(粘性率)

データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

#### 反応性:

情報なし

#### 化学的安定性:

適切な条件下においては安定。

#### 危険有害反応可能性:

特別な反応性は報告されていない。

#### 避けるべき条件:

情報なし

#### 混触危険物質:

酸化剤

#### 危険有害な分解生成物:

二酸化炭素, 一酸化炭素, リン酸化物

---

## 11. 有害性情報

#### 急性毒性

#### 経口

GHS分類: 区分外 ラットのLD50値として、3,200 mg/kg (PATTY (5th, 2001)) との報告に基づき、区分外 (国連分類基準の区分5) とした。

#### 経皮

GHS分類: 区分4 ラットのLD50値として、2.0 mL/kg (比重0.98685を用いて換算したLD50値:1,974 mg/kg、PATTY (5th, 2001);Smith H. F. et al.: J Ind Hyg Toxicol., 31, 60-62(1949)) との報告に基づき、区分4とした。

#### 吸入:ガス

GHS分類: 分類対象外 GHSの定義における液体である。

#### 吸入:蒸気

GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。

#### 吸入:粉じん及びミスト

GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。

#### 皮膚腐食性及び皮膚刺激性

GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。なお、ヒトでごく軽度の刺激性が報告されているが (HSDB (Access on June 2016))、詳細が不明であるため採用しなかった。

#### 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

GHS分類: 区分2A ウサギの試験では、試験法等の詳細は不明であるが、最大スコア10とした場合に9のスコアを示す重度の傷害性がみられている (HSDB (Access on June 2016)) ことから、区分2Aとした。なお、ヒトでも重度の傷害が報告されているが (HSDB (Access on June 2016))、詳細は不明であるため採用しなかった。

#### 呼吸器感作性

GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。

#### 皮膚感作性

GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。

#### 生殖細胞変異原性

GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。

#### 発がん性

GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。

#### 生殖毒性

GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。

#### 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。

#### 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。

#### 吸引性呼吸器有害性

GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性:

#### 魚類:

情報なし

#### 甲殻類:

情報なし

#### 藻類:

情報なし

### 残留性・分解性:

情報なし

### 生体蓄積性(BCF):

情報なし

### 土壤中の移動性

#### オクターノール水分配係数:

情報なし

#### 土壌吸着係数(Koc):

情報なし

#### ハソリー定数(PaM 3/mol):

情報なし

### オゾン層への有害性:

情報なし

---

## 13. 廃棄上の注意

処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。

焼却処理する場合には、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。

地方条例や国内規制に従う。

適切な保護具を着用する。

---

## 14. 輸送上の注意

### 国連番号:

該当なし。

### 国連分類:

国連の分類基準に該当せず。



## 輸送の特定の安全対策及び条件:

積み込み、荷崩れの防止を確実にに行い、法令の定めるところに従う。

運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように

---

## 15. 適用法令

### 船舶安全法

腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)

### 航空法

腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)

### 消防法

第4類引火性液体、第三石油類非水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1)

### 海洋汚染防止法

有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)

### 外国為替及び外国貿易管理法

輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」 輸出貿易管理令別表第1の16の項

### 特定廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)

廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの(平10三省告示1号)

---

## 16. その他の情報

### 略語と頭字語

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

EC50: 有効濃度 50%

IATA: 国際航空運送協会

IMDG: 国際海上危険物

LC50: 致死濃度 50%

LD50: 致死量 50%

RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規則

STEL: 短期暴露限度

TWA: 時間加重平均

### 参考文献

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>

【2】化学物質審査規制法（化審法） <https://www.env.go.jp>

【3】化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） <https://www.chemicoco.env.go.jp>

【4】NITE化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP） <https://www.nite.go.jp/>  
Chemical Book

- 
- 【5】 カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>
  - 【6】 ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>
  - 【7】 ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>
  - 【8】 eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト [http://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request\\_locale=en](http://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request_locale=en)
  - 【9】 ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>
  - 【10】 有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>
  - 【11】 HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>
  - 【12】 IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>
  - 【13】 IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>
  - 【14】 Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

**免責事項:**

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本MSDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。